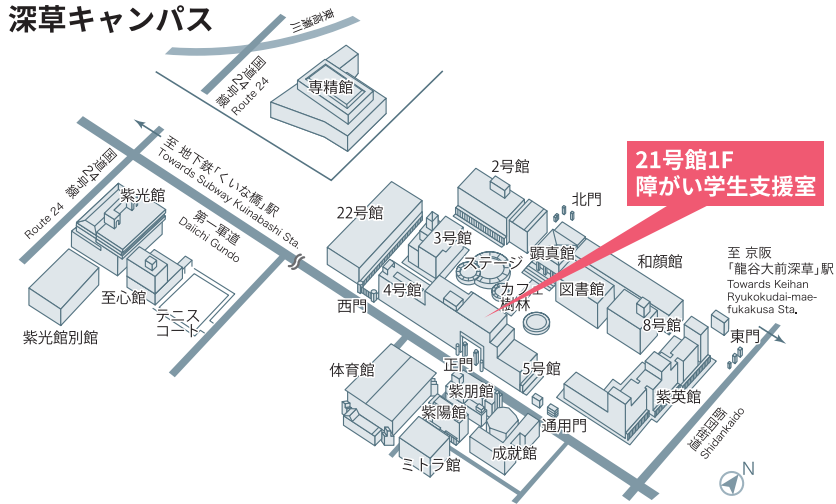
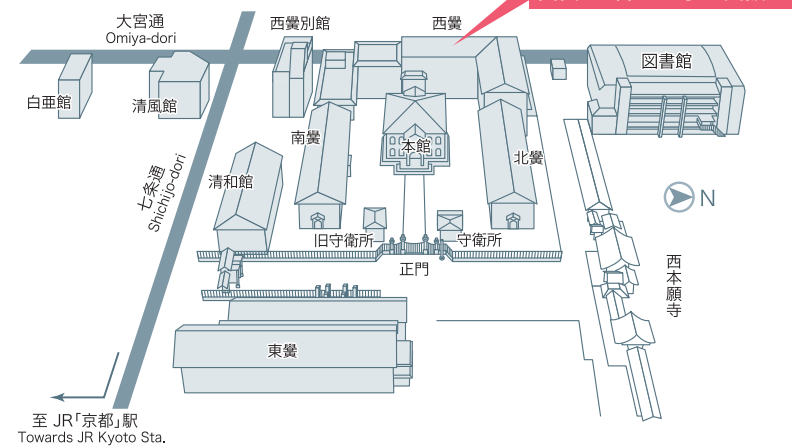


2023

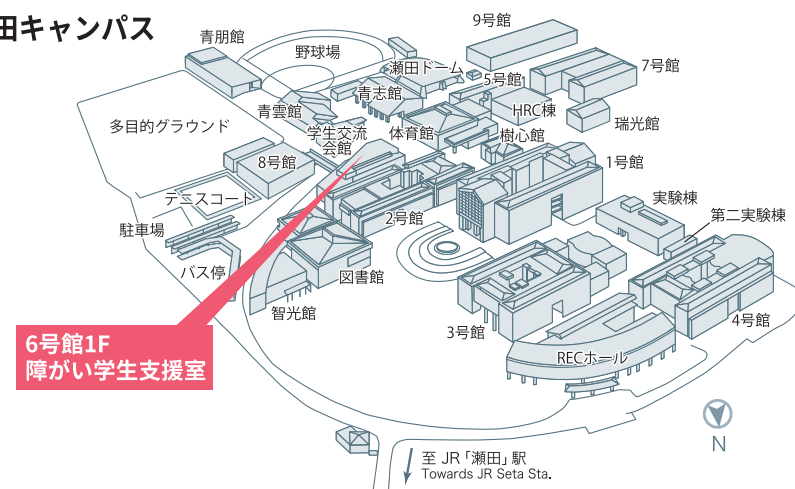
深草キャンパス



大宮キャンパス



瀬田キャンパス



【このパンフレットに関する問い合わせ先】

龍谷大学 障がい学生支援室

＜深草・大宮キャンパス＞

電話番号：075-645-5685

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 21号館1階（深草キャンパス）

〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1 西翼1階（大宮キャンパス）

＜瀬田キャンパス＞

電話番号：077-544-7216

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5 6号館1階

※開室日、開室時間等は変更する場合がありますので、
ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

<https://www.ryukoku.ac.jp/support/index.php>

【発行責任者】龍谷大学障がい学生支援室

【発行年月】2023年4月

共に学ぶ、友と過ごす

龍谷大学が行う
障がい学生支援

案内パンフレット



学生・卒業生の声

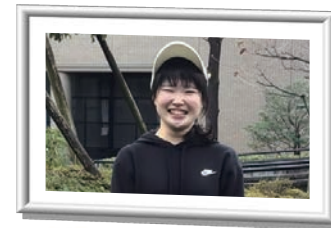
私は支援室で聴覚に関する支援を受けています。人それぞれ聞こえの具合が違うため聴覚支援も人それぞれです。そのため自分一人ではどのような支援が必要か、どの支援が最適かを判断することは難しいです。そんな時、親身になって支援方法をともに考えてくださるのが支援室の方々です。時々面談もして下さるので心のケアもバッチリです！もちろん、聴覚支援だけではなく肢体不自由などのほかの障害への支援もして下さいます。自分一人では解決できない悩み事や不安も聞いて一緒に解決しようとして下さいます。私にとっての支援室は安心して過ごせる自宅のような場所です。

社会学部 岡 穂乃実
農学部 森川 鳳蘭



私はコロナ禍でオンライン授業がメインの時期に、聴覚障がいを持つ学生をサポートするテイクと出会いました。大学生という実感が湧かない中、授業をサポートするテイクとして初めて大学らしい講義に参加して、それまでは関わることのなかった新しい環境、考え方に触れました。テイクを始めてから支援室に頻繁に通い始めて、職員さんや他学部の同期・先輩・後輩と交流するようになり、テイクを通してとても貴重な時間を過ごせていると感じています。

社会学部 細川 薫



ひとりで抱え込まないで

私はUDトークという授業の内容を文字化されるもの（音声認識アプリ）を使わせて頂いています。UDトークは私がより良い大学生活を送るために、欠かせないものになっています。UDトークを使うことを提案して下さった支援室の方々には、本当に感謝しています。支援室の方々は本当に優しく接して下さいます。何か悩みや辛いことがある時は、一度支援室を訪れてみて欲しいです。

経営学部 U



龍谷大学に入学して以来支援室を利用しています。大学は広い教室での授業やグループワークの頻度が高くなるため、耳の悪い私にとって高い壁になりましたが、支援室から機器を借りることで問題なく過ごすことができています。身体的、精神的な問題から周りと同じように授業を受けることが難しい人は一定数存在します。ですが、そこで無理をしてでも授業を受けよう、自分でなんとかしようとするのではなく、周りにちょっと助けてもらえればとても楽になるはずです。支援室はその手助けをしてくれる場所です。ぜひ利用してみてください。

経営学部 草野 菜月

大学生生活は刺激が多く、こころや体が疲れてしまい、通学がづらい時期がありました。しかしそんな時、支援室は安心して相談できる場所として、大学生活をサポートしてくれました。この広い大学の中に、自身のことを理解してもらえる場所・悩みを話せる場所ができたことはとても心強かったです。コーディネーターの方々は小さなことでも親切に相談に乗ってくださるので、もし困った際は1人で悩まずに支援室を訪ねてみてください。

文学部 野田 瑞葵



入学から卒業まで障がい学生支援室にお世話になりました。入学当初は初めてのことが多く、2年生になっても一部困難な授業があり、3年4年はゼミや卒業論文に追われ...といった風に学年毎に様々な困難があり、私にとって支援室は学内でも数少ない憩いの場でした。様々な側面で支援室の方に話を聞いてもらったり、問題解決の手立てを一緒に考えてもらったりすることによって多くのことを乗り越えられました。親身になって話を聞いてもらえるということは学生生活のあらゆる面において大きな助けになります。もし貴方が何か困難なことに直面し、かつ相談できる相手もない...という状況にあるなら、是非一度障がい学生支援室に立ち寄ってみてください。

文学部卒業生 瀧口 皓介



障がいの状況に対応する修学支援

具体的な支援のようす



視覚障がいのある学生に対する修学支援

- ・教科書、参考図書、レジュメ等の点訳・墨訳・拡大・対面朗読
- ・定期試験問題・答案の点訳・墨訳・拡大・対面朗読（定期試験にかわるレポートおよび卒業論文の墨訳を含む）等



肢体不自由の学生に対する修学支援

- ・車椅子で使用可能な教室への配置
- ・生活援助（介助者による大学構内での学生生活介助等）〈一定の要件が設定されています。〉
- ・教室の配慮

内部障がい・病弱の学生に対する修学支援

- ・受講時の配慮（教室の着席位置等）
- ・駐車場の配慮



聴覚障がいのある学生に対する修学支援

- ・授業援助（ノートテイク及びPCテイク）
- ・映像文字起こし、字幕付け
- ・各種機器貸与
PCテイク用ノートPC・テイク用ペン・用紙



発達障がい・精神障がいのある学生に対する修学支援

- ・学生の状態や困りごとに応じて協議のうえ合意した支援（ノイズキャンセリングイヤホン・ヘッドフォンの装着許可等）

その他の障がいのある学生に対する修学支援

- ・協議によって個別に対応します

学生たちの取り組み

シンポジウム実行委員会

「障がい学生支援に関心のある学生有志」で実行委員会を組織し、「共生のキャンパスづくり」をテーマに、シンポジウムを開催しています。シンポジウムの企画、当日の運営、報告集の作成など全て実行委員会で行っています。



読書会

好きな本やお勧めの本（小説・漫画・雑誌などなんでも構いません）を持参して、本の紹介を通して交流をしています。聞くだけの参加も、途中での入退室も可能な緩やかな会なので、本好きの学生が気軽に集まっています。



テイカー養成講座・手話カフェ

聴覚障がいのある学生の支援をしているテイカーがスキルアップのために行っている「テイカー養成講座」や聴覚障がいのある学生が学生・教職員向けに手話をレクチャーする「手話カフェ」を行っています。



テイカー養成講座



手話カフェ

障がい学生支援室について（詳しい場所等については裏面をご参照ください）

深草学舎



事務室



面談室



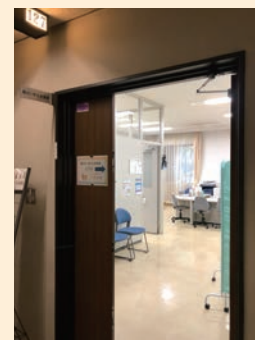
交流スペース

深草学舎の紹介

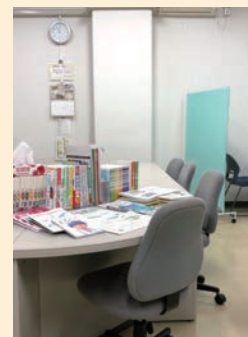
深草学舎21号館の1階に、障がい学生支援室があります。交流スペースは、開室時間内であればいつでも利用できます。学生達は、自習や休養など自由に過ごしています。

また、コーディネーターがいますので、相談のある時はいつでも気軽に相談できます。（時間を要する相談は予約制になっています）

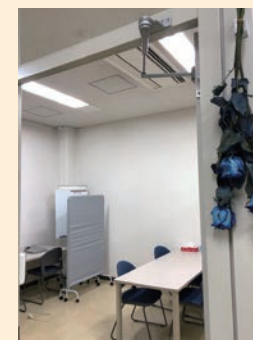
大宮学舎



支援室入口



事務室



相談スペース

大宮学舎の紹介

大宮学舎西翼1階にあります。開室時間内に利用できます。自習や相談等、自由に過ごすことができます。コーディネーターがいますので、相談のある時はいつでも気軽に相談できます。（時間を要する相談は予約制になっています）

瀬田学舎



6号館相談スペース



事務室

瀬田学舎紹介

瀬田学舎6号館1階に、交流スペース・相談スペースがあります。面談したり、休養したりと自由に過ごしています。

コーディネーターがいますので、相談のある時はいつでも気軽に相談できます。（時間を要する相談は予約制になっています）

支援の対象・支援の範囲・支援の体制

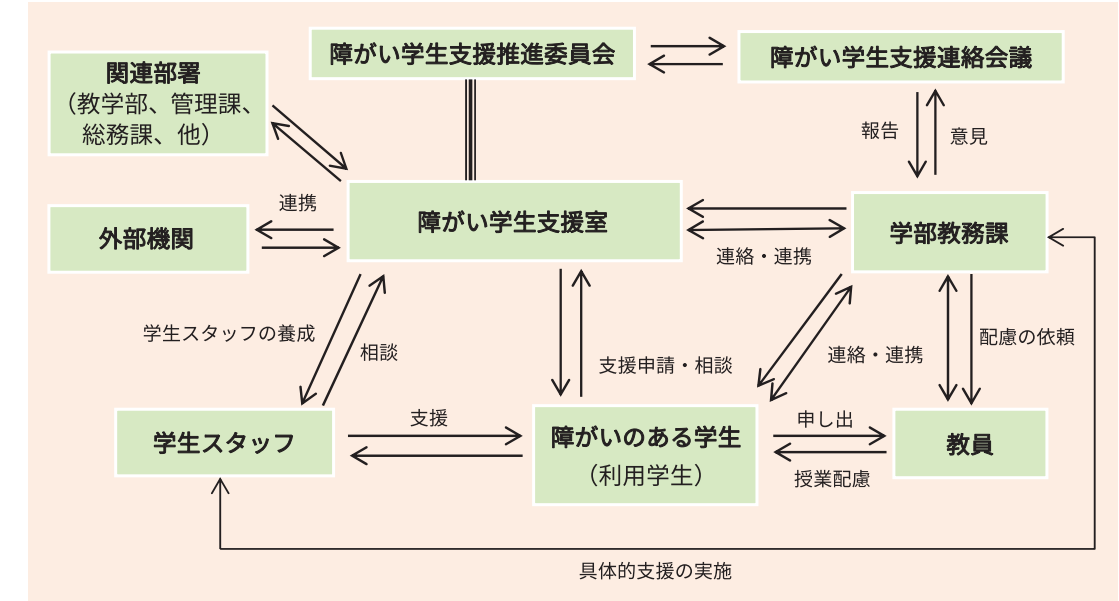
1. 支援の対象

- ・視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由などの身体障がい、知的障がい、発達障がい、精神障がい、その他の心身の機能の障がい（難病に起因する障がいを含む）のある学生等、障がいの診断を受けている学生を対象とします。
- ・障がいの診断を受けていないが、それに類する状況によって支援を求めている学生や、継続的な支援が必要であると障がい学生支援推進委員会が認めた学生を対象とします。

2. 支援の範囲

- ・授業・課外授業、大学行事への参加等、教育に関する全ての事項とします。

3. 支援の体制



相談窓口

原則として支援は、本人の申し出により行います。

相談を必要とする方は、所属する学部の「教務課」または「障がい学生支援室」にお尋ねください。もちろん、龍谷大学のあらゆる部署や教職員も相談をお受けします。

障がい学生支援室について

障がい学生支援室では、障がいのある学生の人権を支援の中心に据え、学生の状態を「学習面」のみならず、「健康面」「生活面」「社会活動面」等多面的に捉え、教職員や学外関係機関との協働による「対話型支援」を目指しています。

支援の内容

1. 修学支援（教務課や教員との連携により実施）
 - ・履修に関する相談・支援
 - ・授業における配慮に関する支援
 - ・評価方法の変更及び調整に関する相談
 - ・ノートテイクやサポーターの配置に関する調整 等
2. 学生生活等の支援
 - ・精神面や生活面の相談
 - ・障がいの特性の理解や受容に関する相談
3. キャリア形成・就職支援
4. 保護者等の支援

支援の流れ

